

ていり 市議会だより

■発行:天理市議会
■編集:議会広報編集委員会
<http://www.tenri-gika>

〒632-8555
天理市川原城町605
TEL.0743-63-1001
FAX.0743-63-4502

No.45

2008年 9月1日



9公民館で開催されました

『市民の皆さんと 議員との校區別懇談会』

CONTENTS

6月定例会	2
市議会に関するアンケート結果	2~3
一般質問ほか	4~6
常任委員会審査の概要ほか	7
とびっくすほか	8

6月定例会

一般会計補正予算

2千901万円可決

第2回定例会では、一般会計補正予算など4議案のほか推薦案、同意案を可決し、19日に閉会しました。

6日の本会議では、会期を20日までの15日間と決めた後、議事日程に入り、報告第2号から第5号までの4報告、また、承認案が上程され、いずれも原案どおり承認した後、市長から平成20年度一般会計補正予算ほか4議案について提案説明があり、1日目を散会しました。

再開された10日の本会議では、一般質問に続き、上程された5議案を各常任委員会に付託し、2日目を散会しました。

11日から16日の間にそれぞれの常任委員会で付託議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

再開された19日の本会議では、一般質問に続き、各常任委員会に付託された議案について、各委員長より報告があり、いずれも原案どおり可決しました。

続いて、農業委員会の委員の推薦を行った後、公平委員会の委員の同意案が上程され、長柄町の飯田眞康氏を選任同意し、本定例会を閉会しました。



『市議会に関するアンケート』 最終結果報告



去る5月2日から市内在住の満18歳以上の男女3,000人を無作為抽出で、アンケートを郵送させていただきました。

アンケート配布数	3,000人
不着数	19人
回収数	1,037人
回収率	34.8%
※無回答数もありますので、回収率に合致しない場合もあります。	

Q 現在の議員定数は20人ですが、議員数についてどう思いますか？

- A**
- 何でも多いと良い事ができるとは思わない。
 - 時代の変化に対応していく姿勢で改革を望む。
 - 各町に一人の議員が必要、各校区代表2名（又は1名）とすべきである。
 - 減少する人口に対応して減らすべきである。
 - 政策提起も見られず、少数精鋭でよい。
 - 常任委員会の数を見直し、議員定数削減の推進を望む。
 - 報酬が多いので人数を減らすべきであり、報酬を減らせば現状の人数で良い。

Q 議員報酬についてどう思いますか？

- A**
- 定数を減らすのなら、現状の報酬額で良い。
 - 市民のためになる議会であれば、それに見合う報酬が必要。

- 日々の活動と報酬が比例していない。報酬に見合う仕事をしているとは思えない。
- 会議日数、活動日数と比べ、報酬は多すぎる。
- 年4回の開会だから、奉仕と考え日当制にすべきである。
- 奈良県全体の議員報酬が他市と比較しても高い。
- 期間限定で期末手当の減額を、常勤職でない議員に期末手当は必要ない。
- 財政豊かな市ではない。市税収入の減少を考慮すべき。景気動向を考慮すべき。財政が厳しいなら減らすべき。財政状況により判断すべきである。
- 全国的に見ても多い、類似団体と比較しているのか？人口規模で考えると多い。なぜ現状の額なのか教えてください。ホームページに類似団体との比較分析結果を掲載してほしい。
- 全議員一律ではなく、活動内容によって報酬を決めればよい。
- 庶民感覚を持つべきである。現報酬は高すぎる。
- 議長、副議長も一般議員と同額でよい。
- 議員への各種委員会における報酬は不要である。

Q 政務調査費についてどう思いますか？

- A**
- 上限を決めて、実費支給すればよい。毎回必要とする際に、申請する方式で実施を。
 - 財政状況と類似団体との比較により考えるべき。
 - 活動内容がわからない。報酬だけで十分である。調査活動状況が伝わらない現状では必要がない。
 - 悪用していないか心配。ホームページで支出内容を含む明細の開示を、全議員の調査内容と支出明細を公開してほしい。実際の勉強に使っているか疑問、用途をより明確にするべき。
 - 議員が視察を実施した内容の報告を「議会だより」で明らかにしてほしい。
 - 天理市の現状をしっかりと把握する活動と政策立案を、成果を生まない活動費は必要ない。
 - 会計検査院のようなチェック機関(第三者機関)の設置を。
 - 良い調査をするため必要だが、少ない方が良い。
 - やる気の問題だ。自費で良い。

Q 議員・議会についてのご意見

- A**
- 時代を先取りした改革を、慣習にとらわれない見直しが必要である。市民の目線に立って常に改革が必要。

- アンケート資料により、少し議会が分かった。議員になる理由を明確にし、開かれた議会にして下さい。
- アンケートの集約内容を市民に公表して下さい。定数・報酬について、アンケートをとる行為は自浄作用があると評価する。
- 市民の声を聞く機会のある議会運営を、議会・議員と会話する機会がない。市民と議会のコミュニケーションが少ない。
- 生の声を聞く機会が必要。市民と具体的な政策議論をする場を弱い立場の市民の声をもっと聞くべき。市民の生活向上を図る政治を(懇談会など)、市民の声を反映させるため、ホームページで政策ごとにアンケートを実施して目安箱の様な意見箱を設置してほしい。市民に身近な議会にするべき。
- 議員の活動が見えるように、もっと努力するべき。活動報告を広報等で義務化するべき。
- 議会で何がどの様に決定されたのか市民に見えるようにしてほしい。ホームページや議会だよりで審議結果だけでなく、その議論内容や賛否の状況も開示してほしい。
- 立候補するときはずまい事言って当選したら公約を忘れている。選ばれて議会に出ているのだから、人肌脱いで頑張るといふ意欲が求められている。
- 選挙のためのお葬式出席はやめてほしい。
- 個人の陳情は町役員に任せ、議員は大局の市政に目を向けるべき。
- 議員の地位を利用し、自己利得・利益の追求をしないで、自己利益を目的とした議員はいけない。名誉職ではなく、市民の為に働いてほしい。選挙の時の様な熱のある活動をしてほしい。

- 行政側と緊張関係をもつ議会運営を、議会のチェック機能の強化を。
- 議員提案をもっとするべき。各議員の市長への質疑内容に対して、全議員の考えを明らかにし、内容を広報・ホームページで知らせしてほしい。
- 議員の質問回数が少なすぎる、裏でなく表で議論を、市の文化的発展へと寄与するべき。
- 議会の情報公開をもっと進めるべき、議員がどのような活動をしているか見えるようにしてほしい。何を議論し、市民の為にしているのかが見えない。透明性がない。
- 市議会だよりを読みやすく、分かりやすく、関心が持てるものにしてほしい。
- 議長専用車は不要、圧力議員は不要、市民の声を公平に反映してほしい。
- 議員年金制度も見直すべき。議員定年制(例えば65歳)を導入して下さい。
- サラリーマン等が働きながら議員・議会活動ができる制度が必要。
- 全議員の活動評定表を作成し、公表してください。実績を示すべき。
- 議員の質問内容に深みがない。もっとデータ等調査し質問を。もっと身近な問題を取り上げるべき、勉強していないから、議員として自分の発言が出来ていないのでは。議員の質が悪すぎる。つまらない質問が多く時間の無駄である。

Q 性別、年齢は？ ※10代は満18歳以上が対象

- A** 男性……505人 女性……516人
 10代…… 25人 40代……145人 70代以上……224人
 20代…… 86人 50代……186人
 30代……143人 60代……225人

Q 市議会に関心がありますか？

- A** ある……262人 ない……222人
 少しある……532人

Q 「市議会だより」を読んでいますか？

- A** どの記事も読む……171人
 関心のある記事だけ読む……533人
 ほとんど読まない……183人
 まったく読まない…… 46人
 知らない・見たことがない…… 89人

Q 「市議会ホームページ」を見たことがありますか？

- A** ある……148人
 知らない・見たことがない……868人

Q 会議などを見たことがありますか？

- A** 議場で傍聴した…… 23人
 市役所内のTVで見た…… 73人
 見たことがない……929人

Q 現在の市議会を評価しますか？

- A** 大いに評価する…… 13人 まったく評価しない……66人
 ある程度評価する……262人 わからない……365人
 あまり評価しない……311人

Q 市民の声が反映されていると思いますか？

- A** 思 う…… 21人 思わない……501人
 やや思う……196人 わからない……304人

Q 市議会の改革は必要ですか？

- A** 必要……638人
 必要ない…… 35人
 わからない……352人

Q 「必要」を選ばれた方に対し、改革に取り組む課題は？
 (複数回答可)

- A** 審査機能の向上、政策提言機能の強化……221人
 休日や夜間など市民の傍聴しやすい議会……114人
 市民の声が反映できる懇談会や意向調査……305人
 市議会ホームページの充実など情報公開…… 94人
 議員数・報酬などの検討……457人
 その他……14人

Q 現在議員定数は20人ですが、議員数をどう思いますか？

- A** 現状でよい……326人 少ない…… 13人
 多い……488人 わからない……181人

Q 「多い」を選ばれた方に対し、具体的な議員定数は？

- A** 19人…… 8人 16人…… 154人
 18人……150人 その他……96人
 17人…… 57人

Q 毎月52万円の報酬が支給されていますがどう思いますか？

- A** 適当……146人 少なすぎる…… 3人
 多すぎる……654人 わからない……184人

Q 「多すぎる」、「少なすぎる」を選ばれた方に対し、具体的な報酬額は？

- A** 10万～19万…… 8人 40万～49万…… 281人
 20万～29万…… 50人 その他……29人
 30万～39万……205人

Q 現在議員が活動するために必要な経費を支給する制度(政務調査費制度)があります。(年額ひとり60万円支給)どう思いますか？

- A** 必要である……252人 わからない……368人
 必要ない……367人

Q 「必要である」を選ばれた方に対し、具体的な政務調査費は？

- A** 10万～29万……26人 70万～89万…… 4人
 30万～49万……58人 その他……18人
 50万～69万……86人

アンケート調査に多数ご協力いただきありがとうございました

開かれた議会づくりに向けて市民の皆様への議会に対するご意見・ご要望を把握し、今後の議会改革のための資料として活用させていただきます。アンケート資料が必要な方はお申し出いただきましたら、郵送させていただきます。

一般質問 (要旨)

今定例会では、6名の議員が一般質問を行いました。

ここにその件名と要旨を掲載します。詳細は市議会ホームページ（会議録の閲覧と検索）をご覧ください。

松井真理子 議員

食とエネルギーの 地産地消について

問 食料自給率の向上、安全性、CO₂削減にも効果がある「食の地産地消」が注目されている。原油の高騰により、CO₂の排出が少ない環境に優しいクリーンな新エネルギーを積極的に導入する動きがある。

天理市ごみ問題市民円卓会議からも、国から補助金が出る「バイオマスタウン

構想」を7月に提言する予定であり、さらに小水力発電は、日本の再生可能な自然エネルギー電力の約6割を占めている。食とエネルギーの地産地消をどう考えるか。

答 平成15年6月に農家の有志が天理地区直売部会を組織し、市内のAコープ等で地場農産物を販売している。新エネルギー法等に基づき、太陽光発電を市分庁舎及び二階堂小学校で稼働している。現在、建築中の井戸堂小学校校舎でも稼働を予定している。

バイオマス関係、小水力発電等、長期的な視野で他の市の取り組みも参考にし、着実に進めたい。（市長）

問 資源循環のモデルとして、「菜の花プロジェクト」がある。休耕田・遊休地・耕作放棄地・棚田の利活用により、精製した菜種油を学校給食に使用するなど、環境教育や地球温暖化防止活動に取り組んでいる。また、廃食用油からバイオデ

ィーゼル（BDF）を作り、ディーゼル車や農耕車を走らせることができる。枯渇することなく、軽油に比べ有害物質が少なく大気を汚さない。ごみ減量にもつながる。

菜の花プロジェクトの実施導入は考えるか。

答 市民、事業者、行政が一体となつての環境に優しいまちづくりの推進は大切であり、選別を慎重に検討していきたい。（市長）

菜の花を通した循環型社会を目指して



平井 守 議員

子どもとインターネット 対策について

問 情報化社会はますます進化し、複雑になってきている。インターネット、携帯電話やメールなど有効に利用すればとても便利で利点も多いが、反面、犯罪などに悪用されることもある。これらに対する取り組みは。

答 インターネットなどのトラブルから子どもたちを守る対策として、①家庭では、有害な情報を含むサイトへ子どもたちがアクセスするのを防ぐために、フィルタリングソフトを携帯電話やパソコンに導入することを保護者に啓発していく。②学校では、個人情報保護を安易にネット上に配信しないことや、相手の嫌がる情報をメール等に発信しないというような情報のモラルを高める教育をしっかりとすること。③学校、家庭や地域社会と連携・協力して取り

組む。④一番大切なこととして、バーチャル(仮想的)なネットの世界とは異なる実世界で、直接外遊びをしたり、豊かな体験的な活動を通じて子どもたちが感動したり、新鮮な魅力を見つけてられるような取り組みを進めていきたい。（教育長）

問 ネットなどによる犯罪が多発しているので、教育委員会として積極的に取り組んでいるところが増えている。市独自の調査や取り組みをもっと真剣に考えるべきでは。

答 子どもたちの実態を把握した上で、具体的な対策を検討していきたい。（教育委員会委員長）

今後の学童保育について

問 働く女性や核家族が増える中で、少子化も進んだ結果、小学生は帰宅後の放課後や、特に夏休みなどの学校の休業日には子どもだけで過ごすことになる。放課後や休業日に子どもたちが安心して過ごせる生活の場として学童保育が誕生し

てきた。

本市では昭和52年に前栽で始まり、今は524名が通っている。入所児童数は急増しているが、施設などはあまり増えていない。その結果、大規模学童保育が全国的に問題となつていているが、今後の対策は。

答 平成22年度から1学童71人以上の大規模学童保育は国、県の補助が廃止となるので、丹波市学童保育所は、天理小学校の児童を分離し、井戸堂小学校の児童は創設することにより、大規模の解消を図りたい。また、前栽第一と朝和については既存の学童保育所を間仕切りして分割する計画である。施設の整備にはしっかりと取り組んでいきたい。

(健康福祉部長)

問 学童保育の人数と日数を考えた場合、第二の小学校とも言えるから、間仕切りで40人以下にするのではなく、分離、独立などの抜本的な対策をとるべきではないか。
答 できれば新たな対応をしたいが、現在の学童保育

は、県内12市の中では、最も整った状態と考えている。(市長)

問 指導員は子どもが好きだけでなくは務まらない。専門性を学ぶ姿勢を持ち、実践し、一定の研修や実務を経た上で、例えば学童保育士という市長名による独自の資格認定を交付しては。
答 今後の検討課題とした。

(市長)

飯田 和男 議員

山の辺の道北道の整備と活性化について

問 県は平城京遷都千三百年記念事業の準備を着々と進めている。本市も活性化に向けて真剣に取り組みべきである。このたび、櫛本校区では地域活性化事業の一環として、遊歩道整備実行委員会を立ち上げた。

東大寺山古墳からは、日本最古の太刀が出土し、東国立博物館で保存されているが、レプリカの製作を考えては。また、長林寺に

は、西国33カ寺の観音像が33体造られ、現在も信仰が続いているなど櫛本校区は歴史・文化的にも一時代を作り上げた地域である。

団塊の世代が退職していく中、メタボ対策などウォーキングやサイクリングで自然や歴史を散策し、健康増進を図る時代である。山の辺の道北道の整備と活性化により、人が集まり、本市の存在をこの機会に高めるべきであると考えている。

答 北山の辺の道の特定をはじめ、未整備の現状をどうするか、地元、県とも協議しながら一歩一歩確実な整備を進めていくべきと考えている。(市長)



開発公社借入金と土地処分について

問 土地開発公社が取得した不動産が塩漬けの状態となつており、昨年、金融機関からの借入金利が引き上げられ、市民の税負担が増えている。金融庁に対し、金利引下げの要望書を出してもらいたい。土地の売却については、市民の痛みを少なくする判断と行動を願いたい。

答 貸付制度の創設などは既に国・県に市長会から要望している。土地の売却は、優良企業等申し出があれば対応していくと12月の市議会でも述べている。(市長)

吉井 猛 議員

グリーンテクノ福住用地について

問 グリーンテクノ用地に対する基本姿勢及び用地処分に関わる引き合い等の事実経過と関係する課題を具体的に示してもらいたい。

また、用地処分にかかわって個別・秘密裏に協議されるのではなく、この間知り得た情報による、企業売却におけるシミュレーション等を市民にわかりやすく作成し、情報公開の姿勢の確立を願いたい。

答 引き合い等複数あつたが、附帯条件との兼ね合いなど困難であつた。現時点では公的な土地活用は難しく、売却を考えている。現在、15年計画でこの土地を天理市名義にするため、毎年2億円の元金支出をしており、この間の利子は約6億円余りと見込まれる。今後情報開示に努めたい。(市長)

後期高齢者医療制度について

問 保険料の軽減措置や担当医制度について、厳しい批判がある。メタボリック健診についても、効果や意義に対して疑問が出ている。
答 本市はどのような見解か。保険料については、市民の声を広域連合に伝えた

い。担当医制度の趣旨には賛同するが、運用上の課題が多い。健診率や保健指導率にこだわらず、若い世代には健康への関心の向上と、高齢者には健康管理することで、要介護者を減らす健康づくりを保健センターと協同し進めていきたい。

(市民部長)

加藤嘉久次 議員

高校総体への取り組みについて

問 奈良県を中心に来夏、開催される高校総体の競技のうち、柔道とホッケーは杣之内町の2会場で開催され、他府県から大勢の方が訪れることが予想される。

駅から本通りを歩いてもらえれば一番嬉しいことだが、会場までのバスのピストン運行なども含めて、本市を訪れる方におもてなしの心を伝える取り組みは。

答 県下各市町村の取り組み等も参考にし、商工会や観光協会等の機関とも検討

していききたい。

(市長)

公有地の売却方法等について



問 去年の暮れの「町から町へ」の『市長からの手紙』

で、今年度の予算は大変厳しくなるので、補正予算は災害などの緊急を要する以外は基本的には組まないと断言された。しかし、今回の嘉幡町の普通財産であるリサイクルセンター予定地を売却目的として地質調査の補正が組まれているが、緊急性のある補正か。18年9月議会会で質問したとき「当分は市が保有する」と市長が答弁された。一貫性がないのでは。

答 まさに緊急事態であり、来年度予算は今年度当初予算に比べ10億円を超える減額が必要で、売却できるものであれば売却したい。今回、予備調査の補正を提案した。

(市長)

問 2億円近くかけて買い増した土地と、地元から寄附された3千平方分の土地も含めて、2億円位の安値で売却する予定か。

答 汚染箇所や範囲等の調査を行い、土壌改良に要する経費を算出した上で判断したい。

(市長)

荻原 文明 議員

消防広域化について

問 県は平成25年4月までに「全県1消防本身体制」に向けた広域化を推進する計画を策定した。自治体消防の原則からも広域化について、本市の自主的判斷が必要である。消防無線のデジタル化は中継局がアナログ無線の3倍必要であり、

大規模災害等により中継局が破壊されれば中断され、機能が果たさなくなる。消防広域化は現在の消防本部の新築建替え問題に影響し、山辺広域行政事務組合の構成市町村とも十分協議し、今後の方針を決めるべきでは。

答 消防体制の効率化、基盤強化等のため、広域化に取り組むべきと考えている。デジタル化は十分な研究を重ねたい。また、消防署庁舎建替えは広域化との整合性を念頭に置きながら取り組みたい。

(市長)

情報公開制度について

問 情報公開は、国民主権の理念に則り、国民の確かな理解と批判のもとにある公正で民主的な行政の推進に資することを目的としている。予算編成過程と予算見積書を公開し、一層開かれた市政を実現しては。

答 予算編成過程の公開は非常に大事である。今後その内容、時期等にも慎重に対応していきたい。(市長)

他議会から視察に

(5月～8月)

◎神奈川県寒川町さむかわ

・地域資源を活かしたまちづくり

・健康づくり

・ゆつフレンド派遣事業

◎青森県黒石市くろいし

・ゆつフレンド派遣事業

・出前保育

・安心して子育てができるための支援体制づくり

◎北海道名寄市なまよし

・安心して子育てができるための支援体制づくり

お知らせ

議会改革の一環として、より身近な議会活動への市民の関心を高め、傍聴に来られない方へのサービスの向上を図るため、9月の本会議からインターネットによりライブ中継及びその録画映像を配信します。市議会ホームページから閲覧できますので、是非ご利用ください。

常任委員会審査の概要

文教民生委員会

可決された議案

●多世代交流広場条例の一部改正
 「内容」管理運営を指定管理者に行わせるもの。

意見・要望

◎経営健全化に向け、今後のあり方を検討されるよう要望。

市民経済委員会

可決された議案

●奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更
 「内容」運営体制の充実を図るため、副広域連合長の人数等を変更するもの。

建設水道委員会

可決された議案

●市営住宅条例の一部改正
 「内容」住宅の建替えに伴

い、用途廃止した住宅を条例から削除するもの。

●土地の取得

「内容」土地開発公社保有の用地を本市に買戻すもの。

総務財政委員会

可決された議案

●平成20年度一般会計補正予算
 「内容」歳入歳出ともに2千901万円の増額。歳出の内容は嘉幡町の普通財産土地にかかる境界確定及び土壌検査経費、自治総合センター交付金等によるコミュニティ実施事業への助成、スクールソーシャルワーカー活用事業費等で、歳入は県支出金等で充当。

意見・要望

◎嘉幡町公有地売り払いには、できるだけ簿価を割らないよう最低価格を設定され、また土壌検査には万全を期されるよう要望。

行政視察 (平成19年度分)

全国各市には、地域の特徴などを活かしたまちづくりが進められており、議会運営や行政施策などの見識を深めるため、全国各地の議会から行政視察のため本市を訪問されています。本市議会も下記のとおり行政視察を行いました。

委員会名	期間	行政視察地(調査、研究項目)
安全・安心のまちづくり推進特別	平成19年10月2日～4日	岩手県花巻市 (自主運営バス導入の経緯及び運行について) " 奥州市(児童生徒の安全確保について) " 一関市(")
文教民生	11月13日～15日	福岡県太宰府市(障がい児教育の推進について) 佐賀県唐津市(子育て支援情報センターについて) 佐賀県神埼市(文化財発掘調査について)
市民経済	11月14日～16日	大分県大分市(リサイクルプラザについて) " 由布市(特産物の消費拡大について) " 中津市(街なみ環境整備事業)
総務財政	11月20日～22日	静岡県伊東市(新公共経営システム) 神奈川県小田原市(市民満足度調査及び市民の選択による予算配分システム) 東京都狛江市(公共物への広告掲載)
建設水道	平成20年2月5日～6日	東京都府中市(狭あい道路拡幅整備事業) " 国分寺市(市民防災まちづくり学校について)
議会運営(広報編集)	2月19日～21日	香川県高松市(議会改善検討委員会について) " 善通寺市 (自治基本条例制定までの経過について) " 丸亀市 (議会運営・改革、開かれた議会について)

市議会の主な動き

5月

- 23日 第1回奈良県市議会議長会
- 28日 全国議長会総会
- 30日 議会運営委員会
- " 第2回議会改革推進特別委員会

6月

- 6日 第2回定例会開会
- 10日 定例会再開
- 11日 文教民生委員会
- 12日 市民経済委員会
- 13日 建設水道委員会
- 16日 総務財政委員会
- 19日 定例会再開、閉会
- " 議会広報編集委員会
- 26日 第3回議会改革推進特別委員会

7月

- 22日 議会広報編集委員会
- 23日 第4回議会改革推進特別委員会
- 24日 校区别懇談会(東部公民館)
- 25日 " (櫛本公民館)
- 26日 " (前栽公民館)
- 28日 " (丹波市公民館)
- 31日 " (二階堂公民館)

8月

- 1日 校区别懇談会(朝和公民館)
- 4日 議会運営委員会
- " 議会広報編集委員会
- " 校区别懇談会(柳本公民館)
- 7日 " (福住公民館)
- 8日 " (井戸堂公民館)
- " 第2回奈良県市議会議長会
- 12日 議会運営委員会
- 19日 第5回議会改革推進特別委員会
- 30日 各種団体との懇談会

『市民と議員との校區別懇談会』を開催!!

議員定数・議員報酬・政務調査費・議会改革などについて、市民の皆さんから忌憚の無いご意見をお聞きするため下記の日程で校區別懇談会を開催しました。

市民の皆さんには、お忙しい中、多数ご参加をいただきありがとうございました。
参加状況は次のとおりでした。

月 日	校 区	場 所	市民参加人数	参加議員数	合 計
7月24日	山の辺校区	東 部 公 民 館	7 人	13 人	20 人
7月25日	櫛 本 校 区	櫛 本 公 民 館	9 人	15 人	24 人
7月26日	前 裁 校 区	前 裁 公 民 館	7 人	15 人	22 人
7月28日	丹波市校区	丹波市公民館	17 人	14 人	31 人
7月31日	二階堂校区	二階堂公民館	9 人	9 人	18 人
8月 1 日	朝 和 校 区	朝 和 公 民 館	9 人	12 人	21 人
8月 4 日	柳 本 校 区	柳 本 公 民 館	42 人	15 人	57 人
8月 7 日	福 住 校 区	福 住 公 民 館	16 人	12 人	28 人
8月 8 日	井戸堂校区	井戸堂公民館	29 人	15 人	44 人
			146 人	120 人	266 人

議会として初の試みの懇談会も、参加者各位のご協力により、スムーズに運営できました。



編集後記

市民の皆さんと身近に接し、日頃市政、議員及び議会に対する疑問点を話し合う校區別懇談会を開催しました。

議会の不透明性など議員への叱咤激励等、住みよいまちづくりのために、私達への期待度がひしひしと感じられました。

中央集権から地方分権に委譲され、急激な社会情勢の変化に対応すべき様々な問題が山積している今こそ、議会、議員の手腕が求められているのではないのでしょうか？

皆さんからの貴重なご意見を真摯に受け止め、議会改革の推進に向け、新たな一歩を踏み出していきたいと思います。

